

第575号

倶楽部

Naraken
Keizai
Club

一般社団法人 奈良県経済倶楽部

〒630-8215 奈良市東向中町6番地 TEL0742-23-3661 FAX0742-23-6844

HP <https://narakenkc.sakura.ne.jp> E-mail nakeiku@energy.ocn.ne.jp

印刷所 共同精版印刷株式会社

9月号

- 火曜午餐会・納涼晚餐会 ①②
 第4回スマホ教室を開催 ③
 今月の予定・県内経済情報 ④

納涼晚餐会を開催

火曜午餐会8月例会 ～納涼落語会～
落語家 桂源太氏【山内一豊と千代】

恒例の納涼晚餐会を5日18時から奈良ホテルで開催。連日、記録的な猛暑が続くなか、ご家族・ご友人を含め約40名が参集。今回は昨年の納涼晚餐会においてトークショーに登壇いただいた落語家桂源太氏を高座にお招きし、笑いと涙、ユーモア溢れる落語に耳を傾けた。

開会に先立ち、菊池会長より参加者への謝意と共に「先日亡くなられた奈良が生んだ洋画家絹谷幸二氏の功績を称えらるとともに、改めて哀悼の意を表したい」と述べられた。続いて落語家桂源太氏が登場。まず、ユーモアたっぷりの“まくら”で聴衆を魅了、その後、お待ちかねの落語が始まった。

【あらすじ】

今から450年ほどの昔、江州（現在の滋賀県）長浜に住む若侍山内一豊、身なりは貧しく、住んでいる家はあばら屋。

ある日のこと、一豊は男に襲われていた女（千代）を助けた。千代はまさに絶世の美女。一豊は心臓をグッと鷲掴みにされ、やがて二人は夫婦になった。

当時の一豊は、吹けば飛ぶような身分。食うや食わずやのなか、女房の千代がやってきた。そこで女房の千代、何とか夫の手助けになりたいと、近所で要らなくなった紙をもらってくると草木染めで

小さく綺麗に仕上げてしまった。これを町へ持って行き売り歩く。これが売れに売れて評判が評判を呼んで現在の“千代紙”になったという話（他所では言わないように）。

一豊はそんな千代になんとか恩返しをしたいと考えていた。ある時、織田信長が安土に城を築き、築城祝いとして流鏑馬の神事を執り行うこととなった。見事マトを射抜いたものには、身分の上下に関わらず莫大なる褒美を取らせるとのことであった。

これを聞いた弓の名手である一豊は「これは、出世の糸口であ

る」と思いはしたものの、肝心要の馬がなかった。それに紋服、袴もない。失意のまま己の家に帰ろうとする道すがら、馬市に出くわした。ここに一頭の駿馬（名はアオという）を連れた二人の馬喰があり、優れた馬だが買い手が付かないといった愚痴をこぼしあっていた。この時通りかかった一豊、良い馬だとは思ったが貧乏で買うことはできず、未練を残しながら立ち去っていった。

家に戻った元気のない一豊、妻の千代は具合が悪いのかと心配して尋ねる。一豊はその日の出来事を話し、昔から『勇士の功は馬に



あり』というが、貧乏暮らしゆえ良い馬を買うことができない。馬市で黄金十枚で良い馬を見つけたがそれさえ買えないと残念がっていた。千代は自分の部屋から一枚の手鏡を持って来る。鏡の背に貼ってある紙をはがすと金十枚が出て来た。嫁いで来た時に、万一、山内の家に大事な時利用するよう母親が用意してくれた金子だという。今までも貧乏暮らしのなかいつ使おうかと迷ってきたが、今日こそこの金を役に立てる時がきたと差し出した。一豊は妻に感謝し、他に買い手がついては大変と馬市へ急ぎ馬を購入した。家へ帰って良い馬が手に入ると夫婦喜び合う。

いよいよ流鏑馬神事の当日、一豊は千代が新調してくれた紋服、袴、弓矢で名馬のアオに乗り今まさに駆け出さんとした時、千代が高熱を發し倒れた。一豊は流鏑馬神事に向かうのをあきらめ、千代の看病に専念した。

一豊の看病の甲斐あって千代は回復、千代の強い勧めで慌てて流鏑馬神事に駆け付け、見事、信長の目の前で首尾よく的を射抜いた。

流鏑馬神事が終わると信長は一豊を御前に召し出して誉めた。一豊は信長に馬を求めるまでの子細を話すと、信長は感心し、褒美の品として一豊が所望した簪を与え千代に贈った。この日を境に千代の心はより一層射抜かれ、射抜くのはめっぽう得意な一豊、弓矢の名人である。めでたしめでたし。

【解説】

お馴染みの戦国武将、山内一豊（やまうちかつとよ）（1545?～1605）は尾張で生まれ、豊臣秀吉、徳川家康らに仕える。関ヶ原の戦いでは徳川方に付き、土佐国二十万石の大名になる。「やまうちかつとよ」が正しい読みだが、なぜか「やまのうちかつとよ」とされる。一豊の正室、見性院（けんしょういん）（1557～1617）

は、本名は「千代」とも「まつ」ともいわれる。なお、長篠の合戦ではこの馬のおかげで大きな戦功をあげることができ、しっかり者の千代の助力もあり山内家は栄える。千代は今でも賢女の鑑として誉め讃えられている。

<桂源太氏プロフィール>

1996年生まれ。大阪府八尾市出身。関西学院大学商学部卒。2018年桂雀太に入門。2022年よりNHK「とっておき！朝から笑タイム」（毎週土曜5：10～）にレギュラー出演中。令和4年度NHK新人落語大賞決勝進出。

落語の後はディナータイム。奈良県信用保証協会会長村井浩氏との乾杯のご発声と共に料理が運ばれ、参加者は和やかにご歓談され食事とお酒を堪能。宴たけなわではあったが、19時50分、本多副会長の挨拶と一本締めで和やかに閉会した。



奈良 川崎法律事務所 検索

弁護士法人
川崎法律事務所
TEL (0742) 22-9000
奈良市花芝町9番地の2 川崎ビル

弁護士 川崎 祥記 弁護士 前川 典彦
弁護士 片山 賢志 弁護士 大寺 健太

◆相続・遺言 ◆企業経営法務 ◆交通事故 ◆離婚
◆不動産 ◆医療法務 ◆債権回収 ◆訴訟・法律相談全般


奈良トヨタ株式会社

本 社
〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地
毎週月曜定休日（祝祭日を除く）
☎:0742-61-3301
お客様相談室:0120-288-770(7リ-コール)

豊祝
HOSHUKU

〒630-8444
奈良市今市町405
奈良豊澤酒造株式会社
TEL 0742-61-7636
FAX 0742-61-7658

奈良中央墓園（奈良市営 東山霊苑前）
～奈良市内に ・ご相談
やすらぎの公園墓地誕生～ ・ご用命は

打谷石材（株）
ご夫婦仲良く（お墓参り）
7-ダイヤル **0120-522-749**

FUJITSU
電話とネットワークでお客様に安心と安全をご提案

関西通信建設株式会社

 〒630-8451
奈良市北之庄町66番地1
TEL: 0742-63-7177

人と自然を、技術でむすぶ。

奥村組
OKUMURA CORPORATION

社 長 奥 村 太加典

本 社 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
TEL 06(6621)1101
奈良支店 〒630-8241 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル
TEL 0742(22)5001

第4回スマホ教室を開催

奈良県経済倶楽部 事業委員会では公益目的事業の一環として「スマホ教室」を開催しています。令和5年度から始まったスマホ教室も今回で4回目となりました。

今やスマホは生活全般において必需品となっています。皆様の生活がより一層快適で便利になることを目的として、広く参加を募り、NPO 法人電子自治体アドバイザー・クラブの協力を得て、スマホ教室（基礎編）を実施いたしました。異常ともいえる猛暑が続く中での開催でしたが皆さん熱心に学ばれました。

参加者は50代～80代の方々を中心に17名（iPhone 6名・Android11名）。

- 1回目 7月2日（水）快適に使うための基本設定
- 2回目 7月9日（水）電話・メール・カメラの使い方
- 3回目 7月23日（水）LINEの基本操作
- 4回目 7月30日（水）LINEの応用

<参加者の声>

楽しく受講できました。音声入力が便利でした。苦手意識が少しマシになりました。

今まで分らなかった事ができるようになり、ありがたいです。

次回も参加させていただきます。

奈良県経済倶楽部の皆さんは感じが良く、対応も丁寧で良かった。

奈良県経済倶楽部のことを今まで知らなかったの、色々な催しに参加したいと思います。

こんな講習会をもっと頻繁に行ってください。



奈良県経済倶楽部では、このような事業を通じて地域の皆様がスマホをより効率的に自信を持って活用し、デジタルを楽しむ第一歩になることを願っています。

来年1月には、第5回スマホ教室（応用編）を実施する予定です。



< NPO 法人電子自治体アドバイザー・クラブ>

ITを活用した社会インフラやITサービスを通じて、奈良県の行政や地域の様々な課題解決を支援しています。

- ①行政サービスの向上を図るために自治体会員を定期的に訪問し行政のデジタル化に関する課題に対して助言・提案。
- ②GIGAスクール構想と連携したコンピューター教育を実施。子供たちがコンピューターやスマホを利用するにあたり、トラブルに巻き込まれないように正しく使用方法を教育。
- ③なら食と農の魅力創造国際大学校でパソコン研修。
- ④シニアを対象としたパソコン教室・スマホ教室を実施。

三菱自動車

奈良中央三菱自販(株)

本社 奈良市三条栄町3-6
TEL 0742-34-7671(代)

奈良本店
大和郡山店
橿原店
クリーンカー奈良中央店



奈良交通株式会社

本社
〒630-8651 奈良市大宮町1-1-25
TEL:0742-20-3116(代表)
FAX:0742-27-0727



大切にしています

技術と心

株式会社 松田組

代表取締役 松田英志

〒630-8137 奈良市恋の窪一丁目十番十四号
☎ 0742-34-4351(代表)

令和7年9月の予定

※予定は変更になる場合があります

【火曜午餐会】第1、第3火曜日を定例に開催します。9月は暑中の為、第3火曜日のみ開催します。

【公開講演会】**入場無料・要申込**

9月16日（火）13：00～15：00 於：ホテル日航奈良 飛天の間

第1部 講師：自動車評論家 西川 淳氏

テーマ：「奈良生まれの自動車評論家として」

第2部 講師：モータージャーナリスト 島下泰久氏

テーマ：「間違いだらけのクルマ選び」

第3部：西川氏・島下氏・菊池会長によるトークセッション

「日本の自動車産業の行方」

【囲碁会】13日（土）、20日（土）、21日（日）、27日（土）の4回、13：00～3階会議室で開催します。

【中国語会話教室】祝日の15日を除く1日（月）、8日（月）、22日（月）、29日（月）の4回、10：00～5階小会議室で開催します。

【ハングル勉強会】祝日の15日を除く1日（月）、8日（月）、22日（月）、29日（月）の4回、13：30～5階小会議室で開催します。

【無料法律相談室＝会員限定】ご希望の方は、顧問弁護士と日程調整致しますので事務局にご連絡下さい。

県内経済情報

【概況】

2025年7月度の奈良県企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は17件、負債総額は29億1,800万円だった。

件数は3カ月連続で前年同月を上回り、2015年8月以降で最多の17件となった。負債は、2カ月連続、前年同月比で増加。また、負債額10億円超の大型倒産の発生もあり、全体で大きく引き上げられた。

【当月の特徴】

- *産業別…「サービス業他」が10件で最多。「建設業」4件「製造業」が2件と続く。
- *業種別…「建設業」「飲食業」が4件。「生活関連サービス業、娯楽業」がそれぞれ3件と続く。
- *原因別…「販売不振」が14件で最多。「既往のシワ寄せ」が2件、「他社倒産の余波」が1件。
- *形態別…「破産」が14件で殆どを占める。「取引停止処分」が2件。
- *資本金別…「個人企業他」が6件で最多。「500万円以上」が5件と続く。
- *負債別…「1,000万円以上」が11件で半数以上を占める。「10億円以上」が1件発生した。
- *従業員別…「5人未満」が14件で殆どを占める。「5～9人」が2件と続く。
- *その他…「新型コロナウイルス」

関連倒産は3件（判明分）。

【今後の見通し】

内閣府が7月に発表した「月例経済報告」によると、「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している」、先行きについて「米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要」「物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある」とした。政策態度は「米国の関税措置について、今般の日米間の合意を踏まえ、引き続き必要な対応を行いながら、経済財政運営に万全を期す」「政府と日本銀行は、引き続き緊密に連携し、経済・物価動向に応じて機動的な政策運営を行っていく」としたうえで、「日本銀行には、経済・物価・金融情勢に応じて適切な金融政策運営を行うことにより、賃金と物価の好循環を確認しつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する」とした。

7月23日、日米関税交渉が一応の決着を見た。当初25%と提示された相互関税などは15%と報じられたことで、経済界からは安堵の声も聞か

れた。また近畿経済においては、エリアや産業はやや限定されるものの、活況を呈する「大阪・関西万博」も好影響を与えているようだ。ただし、足元経済情勢に楽観視はできない。国内企業を取り巻く環境は、原材料価格や光熱費、人件費などの上昇に加え、代表者の高齢化や人手不足などの経営課題が複合的に絡み合い、先行き不透明な状況にある。特に中小・零細企業では、人材獲得競争が激化した結果、大手企業との賃金格差が拡大、人材確保が困難になっている。こうしたことも背景として7月の近畿の倒産件数は今年に入って最多を更新。奈良県に置いても、2015年8月以降で、単月最多の17件の倒産が発生。東京商工リサーチの調べでは、2024年に「倒産」「休廃業・解散」で市場から退出した普通法人は、全国で6万1,613社（前年比27.1%増）と2015年以降の10年間では最多を更新しており、倒産のみならず企業の市場退出は高水準で推移している。そのようななか、トランプ関税の影響や借入金利上昇の影響も今後顕在化してくる可能性がある。競争力に乏しく、先行きの見通しが立たない零細企業を中心に、市場からの自主的な退出や企業倒産は高水準で推移すると見る。（株）東京商工リサーチ奈良支店調べ

今月号をもちまして『県内経済情報』の掲載を終了します。永きにわたりご愛読いただきありがとうございました。10月号からは、会員の素顔をインタビュー形式でご紹介する『くらぶのわ』をスタートします。コーナータイトル『くらぶのわ』は、会員の「輪」・「和」・「話」をイメージしています。